

令和５年度 学校評価まとめ

Ⅰ

一生懸命に学ぶ子

	児童用	保護者用	教師用	アンケートの結果	グラフの分析 (※)は昨年度	・本年度の取り組み状況 ☆来年度に向けての志向、及び改善点
①	学校や家で、進んで学習(宿題・自学・読書・スポーツなど)をしている。	学校は、お子さんが進んで学習(宿題・自学・読書・スポーツなど)、に取り組めるように指導している。	児童が主体的に学べるように課題(宿題・自学など)を工夫して取り組んでいる。	1 学校や家で、進んで学習や宿題・自学・読書・スポーツなどをしている。 児童 保護者 教師 39% 26% 13% 43% 56% 60% 14% 14% 20% 4% 4% 7% 0% 20% 40% 60% 80% 100% よくできている できている あまりできていない できていない	保護者・児童は8割以上、教師は8割できていると回答している。しかしよくできていると感じている児童に比べ、教師は学習内容の質について十分満足できていないと感じている。 (※保護者・教師は8割程度できていると回答しているが、そう感じていない児童がいる。)	・課題を達成するための宿題を出したり、自学ポイント制での意欲付けをしたりしている。また、職員室前に良い自学を掲示し参考にさせることで全体的に自学の質が高まりつつある。 ・児童の実態に合わせて課題を工夫している。 ☆自学では、決まった課題が続いたり、主体的ではない児童もいたので、質の改善やさらなる意欲づけができるように、取り組み内容の工夫の仕方を示したり、テスト対策への成果等を褒めて学ぶことへの価値づけを行ったりしていく。
②	漢字や計算ができて、学校の勉強がよくわかる。	学校は、お子さんが漢字や計算などの基礎学力や学習したことが身につけられるように取り組んでいる。	児童の基礎学力の定着させるために教材研究や課題を与えるなど工夫して取り組んでいる。	2 漢字や計算ができて、学校の勉強がよくわかる。 児童 保護者 教師 39% 38% 20% 50% 49% 67% 10% 10% 13% 1% 2% 0% 0% 20% 40% 60% 80% 100% よくできている できている あまりできていない できていない	約9割近くの児童、保護者が学習内容をおおむね理解できていると感じている。 (※2割の児童が学習がよくわかると感じていない。)	・毎日のきめ細かな指導により、おおむね基礎学力の定着がなされている。 ・教職員は、知識・技能面に比べ、思考・判断・表現力については、課題があると感じているが、日頃の授業で取り組みの難しさを感じている。 ☆引き続き教材研究を行い、指導の工夫改善に努力していく。
③	興味のあることにタブレットや本(教科書や図鑑)を活用し積極的に取り組んでいる。	学校は、お子さんが興味のあることにタブレットや本(教科書や図鑑)を活用し、積極的に取り組めるようにしている。	ICT機器や図書等を活用し、視覚支援や学びを確実にする授業改善に取り組んでいる。	3 興味のあることにタブレットや本教科書や図鑑を活用し積極的に取り組んでいる。 児童 保護者 教師 30% 38% 47% 39% 42% 47% 22% 18% 0% 8% 3% 7% 0% 20% 40% 60% 80% 100% よくできている できている あまりできていない できていない	児童の7割、保護者の8割近くが積極的に取り組めていると感じている。 教職員の9割以上が、積極的にICT、及び図書を活用している。 (※半数の児童が積極的に取り組めていないと感じている。)	・授業での大型テレビの普及、デジタル教科書の活用がさらに進んでいる。 ・学習でのクロームブックの活用が増え、児童も意欲的に取り組んでいる。 ☆ICTを活用する場面と、児童がノートと使う場面など、バランスを考えて指導していく。 ☆探求的な学び等、クロームブックの活用場面を十分吟味し、活用させていく。 ☆全ての教科でICTがスムーズに活用できるように学習環境を整えていく。
④	授業のなかで、自分の考えを友だちに伝えたり、一緒に考えたりしている。	学校は、お子さんが自分の思ったことや考えたことを話せるように取り組んでいる。	グループやペアでの学び合いや発表等、個人思考や自己表現の場を保障する授業改善に取り組んでいる。	4 授業のなかで、自分の考えを友だちに伝えたり、一緒に考えたりしている。 児童 保護者 教師 36% 26% 7% 41% 55% 73% 19% 16% 13% 3% 3% 7% 0% 20% 40% 60% 80% 100% よくできている できている あまりできていない できていない	2割以上の児童が、自分の考えを伝えたり、一緒に考えたりできていないと感じている。保護者、教職員もほぼ同じように感じている。 (※自分の考えを伝えられていない(22%)と感じている児童がいる。)	・授業では、意図的にペア学習やグループ学習を取り入れ、児童が考えを出し合える活動を設けているものの発達段階に応じて話し合いを充実させることが十分にできていない。 ☆低学年から、ペア学習やグループ学習の場を設け、スモールステップで継続した取り組みを続ける。 ☆意見を出し合い学び合えるペア学習やグループ学習となるよう、授業での効果的な課題の与え方や発問の研究をしていく。
⑤	ふるさと学習や体験活動を通じて成長できた。(好きになった。分かった。)	学校は、お子さんが地域の学習や体験活動を通して、地域のよさにふれる機会を作っている。	地域に出かけたり、体験的な活動を取り入れ、ふるさと学習に計画的に取り組んでいる。	5 ふるさと学習や体験活動を通じて成長できた。好きになった。分かった。 児童 保護者 教師 48% 47% 27% 41% 38% 40% 11% 13% 20% 1% 3% 13% 0% 20% 40% 60% 80% 100% よくできている できている あまりできていない できていない	児童、保護者共に、ふるさと学習の成果を感じている。一方、教職員は、3割以上が十分な成果が得られていないと感じている。 (※ふるさと学習や体験的な学習を肯定的にとらえている児童が8割いる。)	・どの学年も児童の発達段階に応じた地域素材を生かしてふるさと学習を行うことができた。 ☆教科学習と体験活動を結びつけたり、体験を通して思考・判断・表現力の育成につなげたりと、カリキュラムマネジメントを意識した単元計画をしていく。

2 思いやりの心や責任感をもつ子																										
	児童用	保護者用	教師用	アンケートの結果	グラフの分析 (※)は昨年度	・本年度の取り組み状況 ☆来年度に向けての志向、及び改善点																				
⑥	自分の好きなところ、良いところを言うことができる。	学校は、お子さんが自分の好きなところや良いところを気づけるような指導に取り組んでいる。	道徳や学級活動を中心として、自己肯定感を高める取り組みを行っている。	6. 自分の好きなところ、良いところを言うことができる。 <table><tr><th>対象</th><th>よくできている</th><th>できている</th><th>あまりできていない</th><th>できていない</th></tr><tr><td>児童</td><td>33%</td><td>32%</td><td>25%</td><td>9%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>24%</td><td>54%</td><td>18%</td><td>4%</td></tr><tr><td>教師</td><td>20%</td><td>40%</td><td>33%</td><td>7%</td></tr></table>	対象	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	児童	33%	32%	25%	9%	保護者	24%	54%	18%	4%	教師	20%	40%	33%	7%	自己肯定感の低い児童が3割を超えている。また、教職員の4割は、自己肯定感を高める取り組みができていないと感じている。 (※自己肯定感が低い児童(31%)がいる。)	・学級活動や道徳を中心に、児童の自己肯定感を高めるような指導を行っている。 ☆自己肯定感を高める授業を今後も取り組んでいく。 ☆日常の中で児童を認め、褒めて自信を持たせるようにする。
対象	よくできている	できている	あまりできていない	できていない																						
児童	33%	32%	25%	9%																						
保護者	24%	54%	18%	4%																						
教師	20%	40%	33%	7%																						
⑦	正しくていい言葉づかいができています。	学校は、お子さんが場に応じた丁寧な言葉づかいができるように指導している。	場に応じた丁寧な言葉遣いを指導している。	7. 正しくていい言葉づかいができています。 <table><tr><th>対象</th><th>よくできている</th><th>できている</th><th>あまりできていない</th><th>できていない</th></tr><tr><td>児童</td><td>28%</td><td>49%</td><td>21%</td><td>2%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>15%</td><td>57%</td><td>26%</td><td>2%</td></tr><tr><td>教師</td><td>7%</td><td>80%</td><td>13%</td><td>0%</td></tr></table>	対象	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	児童	28%	49%	21%	2%	保護者	15%	57%	26%	2%	教師	7%	80%	13%	0%	ほとんどの教職員は、適切に指導していると思っているが、3割近くの保護者は、できていないと感じている。丁寧な言葉遣いをできていないと自覚している児童も2割以上いる。 (※適切な言葉遣いができていないと感じている児童・保護者が多い。)	・教職員は、児童の前に立つときは、丁寧な言葉遣いや〇〇さんと呼ぶことを意識して話している。 ・良くない言葉遣いを見つけたら、その場で指導しているが、休み時間など見えないところでは児童の様子が十分に分からない。 ☆日々、全ての教職員が共通理解して同じ意識で指導に当たるようにする。 ☆家庭での指導も協力をお願いする。
対象	よくできている	できている	あまりできていない	できていない																						
児童	28%	49%	21%	2%																						
保護者	15%	57%	26%	2%																						
教師	7%	80%	13%	0%																						
⑧	家の人や友だちにやさしくしている。	学校は、家族や友だちに優しく接することができるように指導している。	相手を大切に思うことができるように、人権の視点を大切に学級経営を行っている。	8. 家の人や友だちにやさしくしている。 <table><tr><th>対象</th><th>よくできている</th><th>できている</th><th>あまりできていない</th><th>できていない</th></tr><tr><td>児童</td><td>47%</td><td>45%</td><td>7%</td><td>1%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>32%</td><td>56%</td><td>10%</td><td>1%</td></tr><tr><td>教師</td><td>13%</td><td>67%</td><td>20%</td><td>0%</td></tr></table>	対象	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	児童	47%	45%	7%	1%	保護者	32%	56%	10%	1%	教師	13%	67%	20%	0%	優しく接することができていると感じている児童、指導ができていていると感じている保護者がほぼ9割である。 (※優しく接できていると答えている児童・保護者が8割を超えている。)	・個に応じて、相手を大切にするような指導をしたり、クラス全体に話をしたりして学級が安心な場所となるよう指導を心がけている。 ☆学級が安心して過ごせる場所となるように、児童間のトラブルに丁寧に対応し、人権の視点に立った指導を継続していく。
対象	よくできている	できている	あまりできていない	できていない																						
児童	47%	45%	7%	1%																						
保護者	32%	56%	10%	1%																						
教師	13%	67%	20%	0%																						
⑨	日番や係の仕事、掃除、委員会活動（高学年）など責任をもって行動することができる。	学校は、お子さんが主体的な行動ができるよう係活動や当番活動・委員会活動の指導に取り組んでいる。	児童の主体的な行動が育成されるように係活動や当番活動・委員会活動の指導に取り組んでいる。	9. 日番や係の仕事、掃除など責任をもって行動することができる。 <table><tr><th>対象</th><th>よくできている</th><th>できている</th><th>あまりできていない</th><th>できていない</th></tr><tr><td>児童</td><td>50%</td><td>40%</td><td>9%</td><td>1%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>45%</td><td>48%</td><td>5%</td><td>1%</td></tr><tr><td>教師</td><td>20%</td><td>53%</td><td>13%</td><td>13%</td></tr></table>	対象	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	児童	50%	40%	9%	1%	保護者	45%	48%	5%	1%	教師	20%	53%	13%	13%	9割の児童が当番活動や委員会活動を頑張っているが、十分な指導ができていないと感じている教職員が2割を超えている。	・児童の主体性を大切にして、困った時はアドバイスやヒントを与えて取り組みの見通しを持たせている。 ☆児童の主体的な活動となるように今後も指導・支援の仕方を工夫していく。
対象	よくできている	できている	あまりできていない	できていない																						
児童	50%	40%	9%	1%																						
保護者	45%	48%	5%	1%																						
教師	20%	53%	13%	13%																						
⑩	家の人に持ち物や連絡を伝えている。	学校は、案内文・ホームページを通して必要な連絡が伝わるよう取り組んでいる。	学校の様子が伝わるように、必要に応じて保護者と連絡を取ることができている。	10. 家の人に持ち物や連絡を伝えている。 <table><tr><th>対象</th><th>よくできている</th><th>できている</th><th>あまりできていない</th><th>できていない</th></tr><tr><td>児童</td><td>37%</td><td>32%</td><td>25%</td><td>6%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>42%</td><td>45%</td><td>11%</td><td>2%</td></tr><tr><td>教師</td><td>27%</td><td>40%</td><td>27%</td><td>7%</td></tr></table>	対象	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	児童	37%	32%	25%	6%	保護者	42%	45%	11%	2%	教師	27%	40%	27%	7%	8割以上の保護者は、必要な情報が伝わっていると感じているが、3割以上の児童は、伝えていないと自覚している。教職員も3割以上が伝えられていないと感じている。 (※保護者は必要な情報は伝わっていると感じているが、子どもはきちんと伝えられていない。)	・問題事案があるときは、直ぐに保護者と連絡を取り解決に向かうことができている。 ☆必要な連絡は、文書や連絡帳などを活用し、余裕をもって家庭に伝えられるようにする。
対象	よくできている	できている	あまりできていない	できていない																						
児童	37%	32%	25%	6%																						
保護者	42%	45%	11%	2%																						
教師	27%	40%	27%	7%																						

3 明るく元気に活動する子																										
	児童用	保護者用	教師用	アンケートの結果	グラフの分析 (※)は昨年度	・本年度の取り組み状況 ☆来年度に向けての志向、及び改善点																				
⑪	毎日、楽しく学校生活が送れ、いろいろなことに一生懸命に取り組んでいる。	お子さんは、毎日楽しく学校生活を送ることができ充実した生活が送れている。	児童が見通しを持って、学校生活が送れるように計画的に学習を進め、余裕をもって児童に接することができている。	11. 毎日、楽しく学校生活が送れ、いろいろなことに一生懸命に取り組んでいる。 <table><tr><th>対象</th><th>よくできている</th><th>できている</th><th>あまりできていない</th><th>できていない</th></tr><tr><td>児童</td><td>45%</td><td>43%</td><td>10%</td><td>2%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>55%</td><td>34%</td><td>9%</td><td>1%</td></tr><tr><td>教師</td><td>0%</td><td>60%</td><td>40%</td><td>0%</td></tr></table> 0% 20% 40% 60% 80% 100% □よくできている □できている □あまりできていない □できていない	対象	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	児童	45%	43%	10%	2%	保護者	55%	34%	9%	1%	教師	0%	60%	40%	0%	8割以上の児童、9割の保護者が充実した学校生活を送れていると感じている。一方、教職員は課題を感じている。	・日々余裕のない中、可能な限り計画的に学習を進めたり、丁寧に児童の指導に当たっている。 ☆児童が楽しく学習に取り組んだり、生活したりできるように、授業改善や特活の時間を充実させていく。
対象	よくできている	できている	あまりできていない	できていない																						
児童	45%	43%	10%	2%																						
保護者	55%	34%	9%	1%																						
教師	0%	60%	40%	0%																						
⑫	自分から「おはよう」「ありがとう」などのあいさつができている。	学校は、お子さんが自分から「おはよう」「ありがとう」などのあいさつができるよう指導している。	児童にあいさつの意味を伝えるとともに、教職員から積極的にあいさつをしている。	12. 自分から「おはよう」「ありがとう」などのあいさつができている。 <table><tr><th>対象</th><th>よくできている</th><th>できている</th><th>あまりできていない</th><th>できていない</th></tr><tr><td>児童</td><td>57%</td><td>28%</td><td>11%</td><td>4%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>41%</td><td>42%</td><td>15%</td><td>3%</td></tr><tr><td>教師</td><td>47%</td><td>40%</td><td>13%</td><td>0%</td></tr></table> 0% 20% 40% 60% 80% 100% □よくできている □できている □あまりできていない □できていない	対象	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	児童	57%	28%	11%	4%	保護者	41%	42%	15%	3%	教師	47%	40%	13%	0%	8割以上ができていますと感じている。 (※あいさつができていると感じる児童・保護者が多い。)	・教職員は、積極的に挨拶をしたり、声かけをしている。 ・昨年度より挨拶のできる児童が増えている。 ☆今後も教職員からの積極的な働きかけと共に、家庭と連携を図り大人側から積極的に挨拶を実践していく。
対象	よくできている	できている	あまりできていない	できていない																						
児童	57%	28%	11%	4%																						
保護者	41%	42%	15%	3%																						
教師	47%	40%	13%	0%																						
⑬	学校や家で、安全に気をつけて生活している。	学校は、お子さんが安全に気をつけて学校や家庭での生活を送れるように環境を整えたり指導したりしている。	児童が安全に過ごせるように校内の環境を整え、安全についての学習(特活・朝の会・終りの会など)に取り組んでいる。	13. 学校や家で安全に気をつけて生活している <table><tr><th>対象</th><th>よくできている</th><th>できている</th><th>あまりできていない</th><th>できていない</th></tr><tr><td>児童</td><td>55%</td><td>34%</td><td>11%</td><td>0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>36%</td><td>53%</td><td>7%</td><td>3%</td></tr><tr><td>教師</td><td>27%</td><td>47%</td><td>27%</td><td>0%</td></tr></table> 0% 20% 40% 60% 80% 100% □よくできている □できている □あまりできていない □できていない	対象	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	児童	55%	34%	11%	0%	保護者	36%	53%	7%	3%	教師	27%	47%	27%	0%	概ね安全を意識して生活ができているが、教職員の3割近くは、まだ十分ではないと感じている。 (※安全に対する意識は非常に高い。)	・日頃から、整理整頓や安全への注意を細やかに行っている。 ☆今後も安全についての学習に取り組み、子どもたち自身の危機管理意識を高められるよう、日常の声かけを続けていく。
対象	よくできている	できている	あまりできていない	できていない																						
児童	55%	34%	11%	0%																						
保護者	36%	53%	7%	3%																						
教師	27%	47%	27%	0%																						
⑭	時間を守ったり、きまりを守ったりして生活できている。	学校は、お子さんが時間や社会的なルールを守れるように指導している。	児童が時間やルールが守れるように、教師が率先して5分前行動や授業時間を守ったり、ルールの大切さを指導したりしている。	14. 時間を守ったり、きまりを守ったりして生活している。 <table><tr><th>対象</th><th>よくできている</th><th>できている</th><th>あまりできていない</th><th>できていない</th></tr><tr><td>児童</td><td>32%</td><td>53%</td><td>14%</td><td>1%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>41%</td><td>46%</td><td>9%</td><td>2%</td></tr><tr><td>教師</td><td>7%</td><td>73%</td><td>13%</td><td>7%</td></tr></table> 0% 20% 40% 60% 80% 100% □よくできている □できている □あまりできていない □できていない	対象	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	児童	32%	53%	14%	1%	保護者	41%	46%	9%	2%	教師	7%	73%	13%	7%	概ね時間やきまりを意識した生活を遅れている。 (※時間を意識した生活を送ることができている。)	・時間やルールを守ることの大切さや必要性について繰り返し指導を続けることで、少しずつ児童の意識が向上している。 ☆今後も教職員が率先して時間を守り、時間を意識した行動を指導していく。
対象	よくできている	できている	あまりできていない	できていない																						
児童	32%	53%	14%	1%																						
保護者	41%	46%	9%	2%																						
教師	7%	73%	13%	7%																						
⑮	朝ご飯をしっかりと食べ、決めた時刻に寝たり、朝自分で起きたりしている。	お子さんは、朝ご飯をきちんと食べ、決めた時刻に自分で寝たり、起きたりしている。	食育を推進し、児童の意識を高め、規則正しい生活習慣の確立に取り組んでいる。	15. 朝ご飯をしっかりと食べ、決めた時刻に寝たり、朝、自分で起きたりしている。 <table><tr><th>対象</th><th>よくできている</th><th>できている</th><th>あまりできていない</th><th>できていない</th></tr><tr><td>児童</td><td>34%</td><td>38%</td><td>22%</td><td>6%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>36%</td><td>38%</td><td>23%</td><td>3%</td></tr><tr><td>教師</td><td>0%</td><td>80%</td><td>13%</td><td>7%</td></tr></table> 0% 20% 40% 60% 80% 100% □よくできている □できている □あまりできていない □できていない	対象	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	児童	34%	38%	22%	6%	保護者	36%	38%	23%	3%	教師	0%	80%	13%	7%	3割近くの児童が家での自立が十分ではないと自覚している。また、保護者も同様である。 (※規則正しい生活を送れている家庭(児童・保護者共に80パーセント以上)が多い。)	・給食指導を中心に食育を継続している。しかし、規則正しい生活習慣の確立まではなかなかできていない。個人差が大きい。 ☆朝の会や学級指導等で規則正しい生活の大切さを引き続き指導するとともに、保護者への啓発をしていく。
対象	よくできている	できている	あまりできていない	できていない																						
児童	34%	38%	22%	6%																						
保護者	36%	38%	23%	3%																						
教師	0%	80%	13%	7%																						